

～6月は「よこはまプラスチック対策強化月間」～ イオングループと横浜市が連携しキャンペーンを実施します

プラスチックは、私たちの生活に多くの利便性と恩恵をもたらした素材であり、今や、なくてはならないものとなっています。そうした中、海洋へ流出したプラスチックごみが引き起こす問題が、深刻化しているなど、プラスチック対策は、世界共通の喫緊の課題となっています。

今年6月は、G20サミットが大阪で開催され、日本のプラスチック対策がアピールされます。この機をとらえ、横浜市では、6月を「よこはまプラスチック対策強化月間」（以下「月間」という。）とし、市内全域でプラスチック対策に取り組みます。

月間のメインとなる取組として、市内で多くの店舗を展開しているイオン株式会社とともに、**「プラごみ削減キャンペーン～見直そう！使い捨て～」（以下「キャンペーン」という。）を市内イオングループ“全店舗”**で実施します。

キャンペーンでは、レジ袋などの **「使い捨てとなるワンウェイプラスチックの削減」**を積極的に呼びかけていきます。

■ イオン株式会社との連携の経緯

- 横浜市とイオン株式会社は、環境保全、子育て支援、健康づくりなど10分野において、相互の連携を強化し、横浜における市民サービスの向上と地域の一層の活性化に資する「包括連携協定」を2012年5月9日に締結しました。
- このたび、横浜市としてプラスチック対策を進めるにあたり、包括連携協定に基づいて、具体的な協議を進め、今回のキャンペーンを実施することとなりました。

■ イオングループ店舗でのキャンペーンの概要

1. キャンペーン期間

6月1日（土）～6月30日（日）

2. 対象店舗

市内イオングループ**全店舗 356店**

・イオン	6店	・マルエツ	20店	・ウェルシア薬局	6店
・イオンスタイル	2店	・ピーコック	3店	・ハックドラッグ	107店
・まいばすけっと	164店	・ダイエー	6店		
・ミニストップ	40店	・マックスバリュ	2店		
					計356店

3. 実施内容

(1) ポスター、ポップの掲示

プラスチックによる環境汚染の現状や、使い捨てとなるワンウェイプラスチックの削減に向けて取り組んでいただきたいことを、わかりやすくお伝えするポスター、ポップを掲示します。(ポスターデザインは別添のとおり)



▲ポップデザイン(例)

(2) レジ袋要否の声かけ

不要なレジ袋は積極的に断っていただくよう、会計の際、お客様にレジ袋の要否の声かけを行います。

なお、店舗によっては、レジ袋の有料化、レジ袋を辞退した方へのポイントの付与などを行っています。

(※イオンでは、石油資源の節約とCO₂削減のため、サトウキビを原料としたバイオマス素材配合のレジ袋を使用しています。)

(3) レジ横サイネージでの呼びかけ

レジで会計をする際に金額が表示されるサイネージを活用し、使い捨てとなるワンウェイプラスチック削減を呼びかけます。

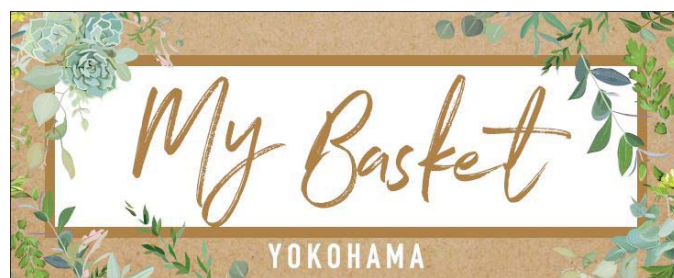
※市内に164店舗あるスーパー「まいばすけっと」で実施。



レジ横サイネージ(イメージ)

(4) “横浜限定”お持ち帰り専用かご「マイバスケット」

今回のキャンペーンに合わせ、イオンでは、お持ち帰り専用かご「マイバスケット」をリニューアルします。リニューアルにあたって、横浜出身のクリエイター・小山飛鳥さんによる横浜限定デザインをあしらったマイバスケットを作成し、利用促進を図ります。



【新デザインイメージ】



◇「マイバスケット」とは：
スーパーで購入した商品を、かごに入れたまま持ち帰ることができる「お持ち帰り専用かご」。会計後、サッカー台でレジ袋に商品を詰め替える手間がないほか、レジ袋の削減にも直接つながる環境にやさしい取組です。また、バスケットそのものにも、サトウキビを原料としたバイオマス素材を配合し、環境に配慮しています。

(5) 消費者アンケートの実施

プラスチック問題や日ごろ取り組んでいることなどについて、アンケートを実施します。
アンケートに御協力いただいた方から抽選で商品券やエコグッズをプレゼントします。

(6) 店頭啓発

グループ店舗に啓発ブースを設け、横浜市職員が、プラスチックによる環境汚染の現状や、取り組んでいただきたい行動を買い物に訪れたお客様にお伝えします。

◇ **6月1日(土)は、キャンペーンのキックオフとして、
市内イオンの旗艦店「イオンスタイル東戸塚店」で、店頭啓発を実施します。**

- ・日 時 6月1日(土) 10時～14時
- ・場 所 イオンスタイル東戸塚店(横浜市戸塚区品濃町 535-1)
2階特設会場 JR東戸塚駅東口オーロラモール連絡通路

(7) その他店舗での取組

- ・レジでのストローやスプーンなどの要否の声かけ
- ・プラスチック対策に向けた行動を促す店内アナウンス
- ・簡易包装商品の特設コーナー設置

※ (1)、(2)、(5) はグループ全店舗356店で実施

(3) はスーパー「まいばすけっと」で実施

(4) は総合スーパー「イオン」、「イオンスタイル」で実施

(6)、(7) は総合スーパー「イオン」、「イオンスタイル」、その他一部店舗で実施

■ イオン チアーズクラブによるごみ拾い活動

イオングループの店舗近隣の小学校1年生から中学校3年生までの子どもたちが、環境に関するさまざまな活動を行っている「イオン チアーズクラブ」。環境に興味を持ち、考える力を育てるとともに、集団行動を通じて社会的なルールやマナーを学んでいくクラブです。

月間及びキャンペーン実施に合わせて、イオン チアーズクラブの子どもたちが、プラスチックごみが海に流出しないよう海岸でごみ拾い活動を行います。

ごみ拾い活動を通じて、子どもたちにプラスチック対策をはじめとする環境への意識を高めていただきます。

- ・日 時 6月8日(土) 10時頃～16時頃
(13時頃からは資源循環局金沢工場の施設見学となります)
- ・場 所 金沢^{すいさいせん}水際線緑地
- ・参加人数 100名
- ・取材について 6月5日(水)までに、資源循環局街の美化推進課まで御連絡ください。

連絡先：TEL 045-671-3817 e-mail sj-machibika@city.yokohama.jp

■ 参考

横浜市ではそのほかにも、月間にあたって次のような取組を行います。

- ・街の清掃活動の実施
- ・駅頭での普及啓発活動の実施
- ・収集車による呼びかけ
- ・ヨコハマ SDGs デザインセンターの取組との連携
(大気中の CO₂ を吸収した木材を原材料とする「木製ストロー」の普及啓発など)



<プラスチック問題の概要>

- ✓ 世界全体で年間数百万トンものプラスチックが陸上から海洋へ流出していると推計されており、このままでは、2050年までに魚の重量を上回る量のプラスチックごみが海洋を占めると予測されています。*
- ✓ プラスチックは適正に分別することで再生利用が可能な素材ですが、金属等の他素材と比べると有効利用される割合は低い状況にあります。
- ✓ 石油由来のプラスチックはリサイクルされず、焼却した場合、温室効果ガスが多く排出されるため、地球温暖化の要因の一つとなっています。

※「THE NEW PLASTICS ECONOMY ETHINKING THE FUTURE OF PLASTICS」(エレン・マッカーサー財団、2016年)

お問合せ先

イオンとのキャンペーンに関すること：	資源循環局 3R 推進課長	江口 洋人	Tel 045-671-2563
「よこはまプラスチック対策強化月間」に関すること：	資源循環局政策調整課長	木村 友之	Tel 045-671-4567
イオンチアーズクラブのごみ拾い活動に関すること：	資源循環局街の美化推進課長	柏木 利明	Tel 045-671-2536

よこはまプラスチック対策強化月間

プラごみ削減キャンペーン

6月1日～6月30日

～見直そう! 使い捨て～



プラスチックごみによる環境汚染が拡大



河口付近には流域から流れてきたプラごみが多数漂着しています



くじらの赤ちゃんの胃の中からプラスチックごみが発見されました

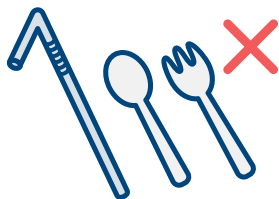
Point!

日頃から使い捨てとなるプラスチックを
使わないことが
環境保護につながります

今からはじめよう!

✓ 使い捨て食器はNO!

プラスチック製ストロー、スプーンやフォークなど使い捨ての食器をもらわない



✓ マイバッグの使用

マイバッグを持ちレジ袋をもらわない



✓ マイボトルの使用

マイボトルを持ちペットボトルの使用を減らす



抽選でステキなプレゼントが当たる!

アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で景品が当たります。

A賞
30名
商品券
2,000円



B賞
50名
マイボトル



<アンケート・応募方法等、詳細はこちら>

よこはまプラスチック対策

検索



C賞
50名
マイバッグ



※景品の色やデザインは変更になることがあります。

イオンと横浜市は、きれいな街と海のため、地球温暖化防止のため、ともに取り組んでいます。



【問合せ】 横浜市資源循環局3R推進課 TEL:045-671-3593

